



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社
 コード番号 9873 URL <https://japan.kfc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 金原 俊一郎

TEL 045-307-0700

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,762	11.5	1,289	35.5	545	47.5	82	88.2
2020年3月期第1四半期	17,717	14.9	951		1,039		701	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 127百万円 (82.2%) 2020年3月期第1四半期 720百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	3.71	
2020年3月期第1四半期	31.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	37,105	21,378	57.6	956.42
2020年3月期	38,012	21,807	57.4	975.69

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 21,378百万円 2020年3月期 21,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	85,000	6.7	5,000	4.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により合理的な業績予想の算出が困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、売上高及び営業利益の業績予想を算出いたしました。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出が困難なことから、引き続き未定としております。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	22,423,761 株	2020年3月期	22,423,761 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	71,078 株	2020年3月期	73,060 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	22,351,172 株	2020年3月期1Q	22,350,881 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により景気が急速に悪化し、個人消費や輸出、生産の減少に加えて雇用情勢も弱含みとなるなど、先行きが厳しい状況となりました。

外食業界におきましても、2019年10月の消費税増税により生活防衛意識が一層高まってきた中、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、不要不急の外出自粛、イベント開催の制限等の影響により、極めて厳しい経営環境が続いております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応を当連結会計年度の最優先の課題と位置付け、お客様・従業員の安全・健康確保を第一義に、その上で、安全で安心な「食」そして「元気」をご提供していくという役割・使命を果たしていく所存であります。

このような状況下、当社グループは2020年に創業50周年を迎え、中期経営計画『創業50周年に向けて』（2018年度-2020年度）の最終年度として、“おいしさ、しあわせ創造”の経営理念の下、主力のケンタッキーフライドチキン（KFC）においては、「原点回帰」「お客様目線（現場目線）」「人財育成」の3つの基本テーマを実践し、持続的なブランド価値向上を図っております。

① 「原点回帰」

誰にも真似できない商品「オリジナルチキン」をお得感のあるメニューで提供するとともに、KFCらしい、驚きとワクワク感のある商品を提供することに努めてまいりました。新商品では、香ばしいガーリックと香味野菜の旨味に加えザクザクした食感が楽しめる「ザ・ガーリックチキン（骨なし）」を期間限定で販売いたしました。また、一口サイズの「ポップコーンチキン」は、国内産鶏胸肉をカーネル・サンダース秘伝の11種類のハーブ&スパイスで味付けをした本格チキンメニューとして、手軽にお召し上がりいただけるように工夫いたしました。このほか、シチリア産レモン果汁を使用した「レモネード」などドリンクメニューの強化にも取り組みました。

② 「お客様目線」

外出自粛に伴うご家庭での喫食率の急速な高まりに対し、テイクアウトやドライブスルー、デリバリーサービスを強化し対応してまいりました。配達代行を含むデリバリーサービスの実施店舗は、6月末現在で264店舗になりました。また、4月16日からQRコード決済を全店舗に順次導入し、キャッシュレス決済手段の拡充を図ることで、お客様の利便性の向上に努めてまいりました。

③ 「人財育成」

50周年を迎える中、改めてブランドの資産である「人財」の育成を強化しております。お客様に最高の体験をご提供するため、商品の品質（Quality）、サービス（Service）、清潔さ（Cleanliness）におもてなしの心（Hospitality）をもって接する「QSC×H」活動に取り組んでまいりました。当活動をベースにした感染症対策に努め、安全・安心な食事を提供することを大切に、オペレーションの向上を図ってまいります。

店舗数につきましては、当第1四半期連結累計期間において3店舗（フランチャイズ3店舗）を出店し、1,131店舗となりました。また、改装につきましては、58店舗（直営12店舗・フランチャイズ46店舗）実施いたしました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は197億6千2百万円（対前年同四半期11.5%増）、営業利益は12億8千9百万円（同35.5%増）となりました。しかしながら、持分法適用関連会社において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により持分法による投資損失を計上したため、経常利益は5億4千5百万円（同47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千2百万円（同88.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は9億6百万円減少し、371億5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少10億8千2百万円、有価証券の増加10億円及び投資有価証券の減少7億3百万円等によるものであります。

負債は4億7千7百万円減少し、157億2千7百万円となりました。その主な要因は、未払金の減少2億2千3百万円及び未払法人税等の減少3億7千4百万円等によるものであります。

純資産は213億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億2千8百万円減少し、自己資本比率は57.6%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8千2百万円及び剰余金の配当による減少5億6千万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により合理的な業績予想の算出が困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、売上高及び営業利益の業績予想を算出いたしました。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出が困難なことから、引き続き未定としております。今後、合理的な予想が可能となった時点で公表いたします。

また、配当金につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、安定的な配当を継続的に実施することを基本方針としております。この方針に基づき、2021年3月期配当につきましては、前期と同様に年間配当金50円と予想しております。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,917	13,835
売掛金	4,386	4,382
有価証券	-	1,000
商品	331	597
原材料及び貯蔵品	55	83
前払費用	411	515
短期貸付金	1	1
その他	801	571
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	20,898	20,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,328	3,329
土地	1,943	1,943
その他(純額)	924	879
有形固定資産合計	6,197	6,152
無形固定資産		
のれん	23	21
ソフトウェア	743	932
ソフトウェア仮勘定	315	112
その他	0	0
無形固定資産合計	1,083	1,066
投資その他の資産		
投資有価証券	4,194	3,490
差入保証金	4,203	4,171
繰延税金資産	1,310	1,128
その他	173	158
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	9,832	8,901
固定資産合計	17,113	16,120
資産合計	38,012	37,105

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,626	5,848
未払金	4,027	3,803
リース債務	115	77
未払法人税等	701	326
未払費用	482	460
賞与引当金	546	73
役員賞与引当金	36	-
資産除去債務	1	-
その他	976	1,376
流動負債合計	12,514	11,966
固定負債		
リース債務	171	158
退職給付に係る負債	2,101	2,122
株式給付引当金	50	46
資産除去債務	1,140	1,140
繰延税金負債	4	4
その他	221	287
固定負債合計	3,690	3,760
負債合計	16,204	15,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	9,689	9,689
利益剰余金	4,886	4,408
自己株式	△147	△143
株主資本合計	21,726	21,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	139
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整累計額	△14	△10
その他の包括利益累計額合計	81	126
純資産合計	21,807	21,378
負債純資産合計	38,012	37,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	17,717	19,762
売上原価	9,939	11,168
売上総利益	7,777	8,594
販売費及び一般管理費	6,826	7,305
営業利益	951	1,289
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	57	56
持分法による投資利益	67	-
その他	7	13
営業外収益合計	133	70
営業外費用		
支払利息	3	1
店舗改装等固定資産除却損	0	1
賃貸費用	39	41
持分法による投資損失	-	764
その他	1	5
営業外費用合計	44	814
経常利益	1,039	545
特別利益		
店舗譲渡益	40	-
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	40	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	6	-
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	1,074	545
法人税、住民税及び事業税	192	301
法人税等調整額	180	160
法人税等合計	373	462
四半期純利益	701	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	701	82

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	701	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	41
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	11	3
その他の包括利益合計	19	45
四半期包括利益	720	127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720	127
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の第51期定時株主総会の決議により、利益準備金を400百万円減少し繰越利益剰余金に、また別途積立金を3,000百万円減少し繰越利益剰余金にそれぞれ振り替えております。

なお、株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社の連結子会社及び持分法適用関連会社においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、店舗の臨時休業・営業時間の短縮を余儀なくされ、これに伴い一部の関係会社では売上高の減少等が見込まれております。連結財務諸表の作成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当連結会計年度において、売上高の減少等の影響が前連結会計年度末から数ヵ月間継続するものの、売上高が数ヵ月を経て回復する仮定に基づき、固定資産の減損損失や持分法による投資損失の計上等の会計上の見積りを行っております。

なお、当第1四半期連結累計期間においては、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な仮定の変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。